



会場校お礼の言葉



2023/11/17

会場校を代表いたしまして、
一言お礼を申し上げます。

本日は大変ご多用の中、

文部科学省初等中等教育局 直山木綿子視学官
鳴門教育大学 佐藤美智子特命准教授
竹内陽子コーディネーター

の講師様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、
第5回徳島県小学校教育研究会外国語研究大会が
無事に開催できましたことに対しまして、厚く御礼申
しあげます。

また、県内各地より本校へお越しくださった皆様
及びオンラインでご視聴くださった皆様には、終日
熱心にご参加いただき、心より感謝いたしております。

本校では、与えていただいた外国語教育研究の機会を大切にし、令和4年度4月よりゼロベースからの研究に、学校全体で取り組んでまいりました。

研究主題である

「コミュニケーションを図る素地及び基礎となる資質・能力を育む小学校外国語教育 ～かかわりを通して学び、自らの思いを伝え合う言語活動の追究～」

に沿って、どうすれば子どもたちに力をつけることができるか、教職員が疲弊しない研究大会を実現し、研究を楽しむことができるか…を探ってまいりました。

昨年度は、

県教委の英語教育改善プラン推進事業「英語指導力向上事業」

の公開授業において、半年間の研究の成果と課題を洗い出し、方向性が間違っていないことを確認いたしました。

そして、本日まで、試行錯誤しながら研究を続けてまいりました。

授業研究に取り組む一方で、子どもたちの言語環境の整備にも注力しました。

その成果物は本会場のパネルに掲示していますが、過剰にならない、必要不可欠な環境づくりを提案しております。

本校の研究は、発展途上ではありますが、本日の4年生・5年生の授業や研究発表を通して、取組の一端が、明日からの皆様の実践に役立つことを期待しております。

また、本校児童及び教職員のさらなる成長のために、ご感想やご助言をいただければ幸いです。

明日からの実践については、来月、全校でクリスマス集会を開催し、異文化に親しむ予定です。

本日、来賓玄関でご来賓の皆様をお迎えしたもみの木は、本大会を応援してくださる地元企業から贈られたものです。

その木を囲み、2年間の研究成果を称え合う集会になることを期待しています。そして、年明けの1月には、県教委の事業Hello to the Worldで留学生を招き、日本文化を紹介して一緒に楽しむ予定です。

このもみの木が、藍畑小学校外国語研究の思い出として、子どもたちの成長をいつまでも見守るシンボル・ツリーとなることを、そして、子どもたちが今後も英語に親しみ、世界を広げてくれることを祈っております。

最後に、

講師の皆様

石井町教育委員会をはじめご来賓の皆様

分科会発表者様

県小教研外国語部会事務局の皆様

名西郡外国語部員の皆様

全ての皆様の本日までの物心両面に渡る
ご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



会場校お礼の言葉



2023/11/17